

2020 ノーリフトチャレンジ・プロジェクト プロジェクト賛同者 募集

この度の、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関し、皆様におかれましては各所でのご対応に苦慮されていることとお察しいたします。また、行政、医療・介護機関はじめ、各地で感染拡大防止に向けご尽力されている皆様に深く感謝申し上げます。

COVID-19 感染拡大に伴い、私たちの活動が、最前線でお役に立てる事はないかもしれませんが、ノーリフトは、腰痛予防対策とケアの質の向上を実現することで、人材不足の解決に大いに役立ってきた成功例があります。また、感染予防における人との接触の機会を減少させることも可能です。その為、日本ノーリフト協会として、医療・介護機関での人材不足や身体疲労軽減に何かできないかと思い4月よりヒヤリングを開始しました。日頃より、ご支援・ご賛同いただいております賛助企業様にもご相談し、ノーリフトで活用している介護機器や介護ロボット、テクノロジーを提供させていただくことで、少しでも病院や施設で働いている医療・介護者の方々の接触感染リスクを減らすと同時に身体的な負担も軽減し、安全で働く環境の支援ができることを願って「2020 ノーリフトチャレンジ・プロジェクト」を立ち上げました。また、行政や関係各所にもご提案し、まずは関西ブロックを中心に実施出来ればと思っております。是非、皆様にも本プロジェクトにご賛同いただきたく、ご案内させて頂きました。

今回プロジェクトの立ち上げに伴い、私たちの活動をご支援くださっている賛助企業の皆様と一緒に病院や施設の「安全な働く環境の支援」として、リフトやシート、車いす、クッション等の無料貸し出しを予定しております。また、機器ご提供の際には、事故を防止するためにも使い方を知っていただく必要があります。そのためリフトを貸し出し時には、対象施設のスタッフへ日本ノーリフト協会から無料でノーリフト導入教育動画の提供させていただきます。この動画は、東京大学 人工物工学研究センター センター長であられ、大学院工学系研究科 精密工学専攻人工学講座 教授 浅間一先生が、プロジェクトリーダーとして 2013 年～2016 年文科省の RISTEX 助成金を活用し、制作ご支援下さりました。

上記支援のほか、福祉機器・用具やそれ以外でのご賛同（寄付金・寄贈品・無料貸し出し）いただける方は、是非、ご参加頂けますと幸いです。詳細は、下記「プロジェクトへの参加方法」をご確認下さい。

日々、緊急事態宣言が発令されている中、いつ収束していくのか、どのように対応していいのかわからないことによるストレスなど、様々な思いを抱えられていることと思います。先がみえないことへの不安もありますが、今だからこそ、今までのご縁から、前向きにできることを考え、チャレンジし続けたいと思っております。

一般社団法人 日本ノーリフト協会 理事一同

<http://www.nolift.jp/aboutus/>

《ノーリフトチャレンジ・プロジェクトの目的》

「ノーリフトチャレンジ・プロジェクト」は、「ノーリフト」による接触感染リスクの低減を目標の一つとし、医療介護者に福祉用具や介護機器を「使ってみて・学ぶ」機会を提供し、「No Lift is Next Culture」を目指すための活動です。

《プロジェクトへの参加方法》

ご賛同頂ける方は、日本ノーリフト協会事務局（noliftcare@gmail.com）宛へメール又は「協力支援届」にてご表明下さい。また、賛同者名掲載に同意を頂ける場合は、表記方法（社名・個人名等）を、ご賛同表明とともに合わせてご連絡頂けますと幸いです。

なお、寄付金・寄贈品・無料貸し出しのご支援を頂ける場合は、添付致しました、「協力支援届」に必要な事項をご記載の上、日本ノーリフト協会事務局までメールにてご返送下さい。

お問い合わせ先：2020 ノーリフトチャレンジ・プロジェクト 日本ノーリフト協会事務局
E-mail：noliftcare@gmail.com TEL：078-862-8503